



GINZATANAKA
SINCE 1892

NEWS RELEASE

2011年2月17日

貴金属ジュエリーの老舗 GINZA TANAKA

大正末期のデザインリングをダイヤモンドで復刻

伝統的なデザイン「菊爪」リングを追加し2月23日(水)から発売

1892年に創業した貴金属ジュエリーの老舗 GINZA TANAKA(田中貴金属ジュエリー株式会社、本社:中央区銀座、代表取締役社長:高田 昇)は、大正末期のデザインリングの復刻版「菊爪」リングを、GINZA TANAKA ブライダルカテゴリーのラインナップに追加し2011年2月23日(水)から発売します。

この「菊爪」リングは、GINZA TANAKA の前身である「山崎商店」が販売したリングを復刻したものです。菊爪とは日本独特のものとして発展した爪留めの様式で、当時大変貴重であった宝石がより引き立つようにデザインされています。この大正時代を代表するデザインをベースに、復刻版ではセンターの0.25ctのダイヤモンドを8片の花びらを模した爪でセッティングし、繊細で可憐な菊の花を表現しています。また、両サイドの小さなダイヤモンドがデザインのアクセントになっています。

<商品概要>

商品名: 「菊爪」リング

税込価格: 270,000円

素材: ダイヤモンド0.25ct /D/ VVS1/ EX、Pt950(SSP※)

販売: GINZA TANAKA 全国8店舗及び
オンラインショップ



※SSPとはGINZA TANAKAオリジナルのスーパーストロングプラチナで、従来のプラチナよりも硬度・強度が高く、傷や変形に強いのが特徴。

1892年(明治25年)に創業したGINZA TANAKAでは、早い時期からダイヤモンドを取り扱っていたことが、当時に関する資料の確認とともに判明しています。貴金属ジュエリーの老舗として知られるGINZA TANAKAに、ダイヤモンドジュエリーのパイオニアとしての一面があったこと、ダイヤモンドへのこだわりと技術が現在にも引き継がれていることを広く伝えることを目的に、この復刻版「菊爪」リングを製作しました。大正時代にはパールと金で製作された「菊爪」リングを、GINZA TANAKAの顔となる「ダイヤモンド」とプラチナを用い、復刻版として新たに販売を開始します。

<GINZA TANAKAについて>

1892年に創業したGINZA TANAKA(田中貴金属ジュエリー株式会社)は、クオリティーの高いジュエリーや工芸品などの提供を通して、一人一人のライフスタイルに更なる輝きを持たせる歴史と伝統を有する貴金属ジュエリーの老舗です。純金やプラチナなどの上質な貴金属に匠の工芸技術を駆使して、デザイン性に富み、かつ資産性の高いジュエリーや工芸品などを製作・販売しています。現在、東京・銀座を始め、新宿、フォーシーズンズホテル椿山荘 東京、横浜元町、仙台、名古屋、大阪・心斎橋、福岡・天神の8店舗を全国で展開しています。

<本件に関するお問い合わせ先>

◎GINZA TANAKA 広報担当(共同PR): 大村、鎌滝、池嶋 TEL:03-3575-9823 FAX:03-3574-0316

◎GINZA TANAKA(田中貴金属ジュエリー株式会社): 石橋、菊地 TEL:03-3561-0510

◎一般からのお問合せ/GINZA TANAKA TEL:03-3561-0491(代) <http://www.ginzatanaka.co.jp>

※商品価格(税込)は予告なく変更する場合がありますので、予めご了承ください。(2011年2月17日現在)